



さとやま

9月に見られるいきもの



上の写真は昨年9月下旬の少し遅めに咲いたヒガンバナです。温暖化のためか、年々開花が遅くなっています。また今年は、初旬の猛暑、中旬の長雨、下旬の残暑と、異例続きの8月でした。万灯山では、今年も新型コロナウイルス蔓延の影響で「貝吹のかぎ万燈」が中止されました。中止は3年連続です。9月はそれら影響も小さくないのではないかとおもわれますが、毎年9月頃見られる生き物たちをご紹介します。

駐車場や、ピオトープ付近などで見られる耳のような形をしたノアズキの花、小豆に近縁の植物です。小草池付近や、万灯山エリアの日当たりの良いところで見られるツルマメは、大豆の原種とされています。

ピオトープ上の池のさらに上の水たまり付近や万灯山エリアでは、ヒメキンミズヒキが咲きます。また、広い範囲で見られるキツネノマゴは、花穂が狐の尻尾に似ていることが名の由来だそうです。

万灯山では「かぎ万燈」中止のため、今年もママコナの花や、1株ですがオミナエシの花がみられます。野鳥の森では、花期が短いですが、運が良ければヤマジノホトトギスの花を見つけることができます。

台風の通過後などには、田んぼエリアの湧き水がたまるバケツに、サワガニが入っていることがあります。涼風が感じられる1日、小さな秋を探して、里を散策してみませんか。



ノアズキ



ツルマメ



ヒメキンミズヒキ



キツネノマゴ



オミナエシ



ママコナ



ヤマジノホトトギス



サワガニ

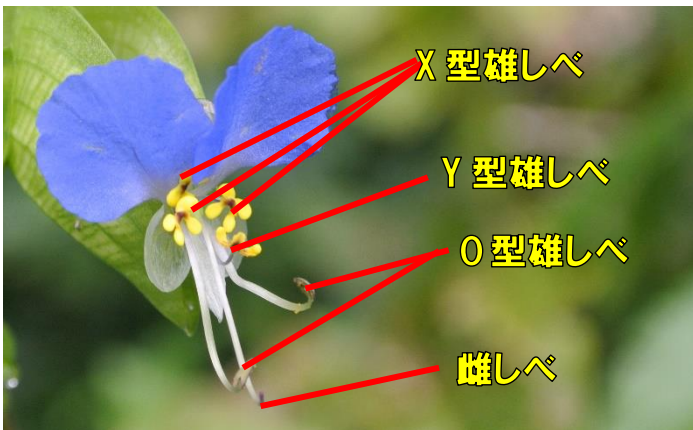
里の生き物紹介

ツユクサ

夏の終わり、少し涼しい風が感じられるようになると、あちこちで鮮やかな青いツユクサの花が群生して咲き始めます



ツユクサはツユクサ科の1年草です。花期は6~9月ということですが、暑さが厳しい頃にはあまり見かけません。朝咲いた花が昼しぼむことが朝露を連想されることから、名がついたと言われています。



花をよく見ると、普通の雄しべ雌しべのほかに、X字をしたものや、Y字を逆さまにした形のしべが見つかります。それぞれX字型(2本)、Y字型(1本)雄しべと呼ばれます。それに対して長く伸びている2本の雄しべをO字型雄しべと呼び、ほかの雄しべに比べ大量の花粉をつけるので、X・Y字型は「仮雄しべ」と呼ばれています。仮雄しべの役割はよく分かっていません。

ところで里ではちょっと変わったツユクサの花も咲いています



これはマルバツユクサという南方系のツユクサで、ツユクサに比べて、花弁が小さく、葉が丸みを帯びて縁が波打っていることで、見分けることができます。ちゃんとツユクサと同じ形の仮雄しべもあります。

ツユクサと同じ場所で見られることもあります。こちらは、夏の暑いときにも花が咲いているのを見かけます。また、地下に閉鎖花(開かない花)をつけることもあり、繁殖力が強く、最近里でも広い範囲に広がっています。

その他、里で見られるツユクサの仲間をご紹介します。これらは、栽培種のムラサキツユクサに花の形が似ています

イボクサ



秋に田んぼのあぜなど、湿った場所でみられる1年草で、田んぼの雑草として知られています。葉の汁をつけるとイボがとれることから名がついたと言われてはいますが、効果は不明です。はっきりした写真ではありませんが。紫の大きな雄しべ3本と、小さな仮雄しべ3本、多くの花糸に囲まれた雌しべがあります。北アメリカやヨーロッパなどに帰化しているようです。

トキワツユクサ



5月～6月、万灯山エリアの道沿いにこんな小さな花がたくさん見られます。これは南アメリカ原産で、昭和初期に観賞用として持ち込まれ野生化したものです。6本の雄しべと、1本の雌しべ、そしてたくさん花糸があります。花糸は拡大すると細胞が1列に並んでいるのが分かります。

オオトキワツユクサ



こちらにもトキワツユクサと同じ南アメリカ原産です。少し大きめの花で、茎がトキワツユクサは紫ですが、こちらは緑色です。どちらも多年草で、写真のように林の中で一面に白い花をつけます。

8月の行事紹介



環境カウンセラーの山口信夫さんを講師に迎え、8月8日(日)「夏休み昆虫教室」を開催しました。今年も大勢の昆虫好きな子どもたちが集まり、熱心に講師の話を聞いていました。そして、里山を散策しているとコナラの木にクワガタなどが発見でき、少し苦手なクワガタも素手で触ることができました。他にも貴重な「ヒメタイコウチ」も見ることができ、市の天然記念物に指定されているなどを学びました。

9月の行事予定

※9月5日開催予定の「鳴く虫の不思議 セミ笛を作ろう」は、臨時休園により「中止」します。

19日(日)	秋の里山で野鳥を観察しよう	20名	AM9:30~11:30	高田 俊洋
26日(日)	里山のいきものを描きましょう	20名	AM9:30~11:30	市川百合子

10月の行事予定

3日(日)	万灯山へ秋のお花畑を見に行こう	20名	AM9:30~15:00	高須 桂子
10日(日)	棚田で稲作しようⅡ(稲刈・はぎ掛け)	30名	AM9:30~11:30	当園職員
24日(日)	棚田で稲作しようⅢ(脱穀)	30名	AM9:30~11:30	当園職員

※「棚田で稲作しよう」に受講される方には、お米をプレゼントします！ また、雨天等で中止した場合は、1週間後の予備日に開催します。【予備日：10日⇒17日・24日⇒31日】

- ◆参加受付は、各講座3週間前の午前8時30分から先着順で来園、または電話にて受付します。また、お申込みは本人、もしくはそのご家族までとします。
- ◆参加申込者は傷害保険に加入のため、小学生以上の方とします。なお、小さいお子さまをお連れいただいても構いませんが「見学扱い」とし、傷害保険の加入はありません。
- ◆天候や少数(6名以下/1講座)、コロナ禍などにより「講座の中止・延期」、または「受講内容の変更」する場合があります。
- ◆原則、参加費は無料ですが材料費などは実費を申し受けます。
- ◆詳細な講座の内容などは、直接ネイチャーセンターにご確認ください

西尾いきものふれあいの里

◆ところ 〒445-0031 愛知県西尾市家武町小草3番地 Tel・Fax 0563-52-0266

◆休日 毎週月曜日・祝日の翌日・年末年始 [12/28~1/4] ◆発行 西尾市環境部 環境保全課